

# 令和5年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



## テーマ

地域・家庭との協働によって  
一人一人のよさを伸ばす学校  
～ 笑顔であいさつ  
心をこめて ありがとう ～

学校名 佐世保市立小佐世保小学校  
所在地 佐世保市小佐世保町 18-1  
校長 春田 優洋  
児童数 211名 学級数 12

## 1 目的

- (1) 学力向上を図る
- (2) 夢やあこがれを育てる
- (3) 豊かな心を育む



## 2 実践内容

### (1) 学力向上を図る

#### ○学力の把握・分析（全学年）

標準学力テストを1月に実施して、児童の学力の状況と実態を把握した。学年ごとに課題を洗い出し、家庭学習や学年末の学習内容の習熟させるために重点的に取り組んでいる。

### (2) 夢やあこがれを育てる

#### ○キャリア教育（6年生 5月 9月）

自分になりたい職業から、それに付随する職業を知ること、仕事の幅が広がった。また、自分に向く職業を選ぶことができた。専門性の高い職業の方から話を聞くことで、仕事に対する熱意や、キャリアを高める方法を聞くことができた。その結果、仕事に対する責任の重さを感じるとともに、漠然とした未来であったが、具体的な未来像が想像できるようになり、将来の夢や希望を抱かせることができた。



### (3) 豊かな心を育む

#### ○花いっぱい運動

栽培飼育委員会を中心として、卒業式、入学式に会場を彩る花づくりを行った。苗が大きくなったり、花が咲



いたりすると共に喜び合う姿が見られた。

#### ○性教育セミナー（6年生 1月）

長崎県看護協会の助産師の方を講師に招き、性に関する授業を実施した。いのちの誕生について、胎児の大きさや重さを実際に持って実感した。たくさんの奇跡の中で自分たちが誕生したこと、今まで育ててくれた両親への感謝の気持ちをもつことができた。保護者からは、大人に対してもよい学びだったので、今後も継続して講演会を開いてもらいたいという感想が聞かれた。



#### ○福祉学習講話（4年生 9月～11月）

総合的な学習の時間において、車いすやアイマスクの体験活動を行い、体が不自由な人に対する声掛けの仕方や、手助けの方法を学んだ。ユニバーサルデザインの商品を実際に使用し、だれにでも優しい商品開発の必要性について学んだ。2月の授業参観では、学んだことをもとに、もっと詳しく調べたことについてグループで発表することができた。



### 3 成果と今後へ向けて

(1)「学力向上」に関しては、教職員の意識が高まり、学力向上のためにどこを重点化するか自発的な話し合いが行われた。また、学年ごとに系統立てて指導する内容を話し合ったり、指導方法について議論したりすることができた。ただし、文章問題や字数制限などの条件を満たす課題解決については、課題に慣れずに解決できない児童もいるので、授業で積極的に取り組む必要がある。

(2)「夢や憧れを育てる」に関しては、外部講師を招いたことで、専門性の高い活動になった。また、児童の職業に関する知識に広がりや深まりが見られた。さらに、なりたい職業に就くため進学先を考えるなど、具体的なビジョンを峯に抱いていた。

(3)「豊かな心を育む」については、苗を育てる活動を通して、生命尊重の心が育った。また、命を大切にすることは、友達に対しても優しい言葉遣いや気配りをするにつながることがわかり人間関係が良好になった。